

令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・体験的な活動や気付きを共有できる場の設定によって、意欲的に活動し、学び合うことができた。
- ・観察カード、絵、新聞など気付いたことを多様な方法で表現できるように工夫したことで、自分なりに思いをもって表現する児童の姿が見られた。
- ・「どうしてか」というと「なぜか」というの接続詞を使うことで、理由について考えられるようになった。

(2) 課 題

- ・活動や体験の楽しさや達成感を味わうだけで終わってしまう児童がいた。
- ・学習で得た気付きを表現する力に差が出てしまい、伝え合う活動がスムーズにできないペアや、グループがあった。

2 授業改善のポイント

- ・低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 年 ・裏庭探検に出かけるなどして、昆虫や草花などの自然と触れ合う活動や機会を多くとる。そして、気付いたことや楽しかったことを言葉や絵で表現し観察カードや絵日記にまとめられるようにする。タブレットも効果的に活用し、記録させる。	1 年 ・体験したことをペアやグループで伝え合う活動を行う等、学び合いの機会を通して、気付きを深められるようにする。 	1 年 ・活動して学んだことが、次の活動につながるような振り返りの時間を設定する。
2 年 ・活動して学んだことが、次の活動につながるような振り返りの時間を設定する。 ・体験したことをもとにして、ペアやグループごとに発表活動を行う等、学び合いの機会を通して、気付きを深められるようにする。 ・町探検で必要なものや約束の大切さに気づけるようにする。	2 年 ・町探検で、気付いたことや楽しかったことを言葉や絵、新聞などで表現し発表することで、体験したことを振り返ることができるようにする。 ・まとめたことを発表する機会を設け、考えを共有し、表現する力を育てる。 	2 年 ・インタビュー活動を通して地域の方と交流することで、地域や人とのつながりに気付き、すすんでかかわることができるようにする。 ・より良い学習活動にするために、ペアやグループづくりを工夫していく。